



コロナとの共存

5月6日に県小学校長会研究大会(総会)が越前市文化センターで開催されました。ここ2年間は、コロナウイルス感染予防のために、県下の校長が参集しての大会は開催することができませんでした。これは全国的に同じ状況でしたので、全国校長会の会合もほぼオンラインでしたが、一度だけ金沢で理事会が開かれ、その時に情報交換会をもつことができました。他県の状況を聞きながら福井の教育について考える機会になったのですが、やはり顔を見合わせながら話すことは大切だと改めて感じた次第です。

令和4年度は、感染対策をした上で集まって実施しようという会合も県内で開かれはじめています。今回の校長会研究大会も久々に集まって開催でき、知事の話聞く機会もありました。危機管理の大切さ、教育におけるDXのさらなる推進、働き方改革などについて直接思いを聞くことができました。今後一層デジタル化が進み、学校でも子供たちのICT活用能力を高めていかなければいけないということや、心理的安全性が高く、風通しがよい職場づくりも大切だと再認識しました。



コロナウイルス感染症は今しばらく続くとは思いますが、日常の教育活動や様々な行事なども感染対策した上で実施していきたいと思っています。授業での話し合いや縦割りの清掃などしばらく様子を見ていた活動も徐々に実施するようになっていきます。また、宿泊学習や校外学習など、学校の外へ出て行く活動も実施したいですし、プール学習も今年は実施しようと考えています。3年ぶりのプール学習です。水着などの準備もお願いします。

縦割り清掃に集合

委員会活動スタート

昨年度当初は満足に活動できなかった委員会活動も始まりました。6年生を中心に高学年の子供たちが大変意欲的に取り組んでいます。かつては委員会の時間が毎週1時間ありましたが、英語の教科化などで授業時数が増えたため、現在は十分な時間が確保できません。そのためどうしても教師主導で進めないと間に合わない状況がありました。

そのような中でも、自分たちの学校生活をどのようにしていきたいか考えるように教員から働きかけたところ、子供たちなりの問題意識を背景に自分たちで動き始めました。きっかけさえあれば、子供たちは実にクリエイティブです。

整美委員会では、清掃場所への移動の時に走ったりうるさくしたりする人が多いという問題に対して、写真のようなプラカードを作って呼びかけようと動き始めました。



廊下を走るという問題については、生活委員会の子供たちも立ち上がり動画を作成しました。廊下を走る動画を流し「絶対に走らないで」と呼びかけ、廊下でふざけて歩いているときに起こる出来事と落ち着いて歩いている理想の姿を流し「前を見て歩いて」「荷物を持っている人に気をつけて」と呼びかけました。

もちろん、動画に出演し演技したのは自分たちでした。

2年生活科「大きくなれ わたしのやさい」

今年もこの季節がやってきました。2年生が野菜の苗植えをしました。教室で野菜の苗を観察し、形や色など気づいたことを記録してから、中庭で自分の鉢に苗を植



えました。トマト、ナス、ピーマンの3種類からの選択です。これから水やりしながら育て

ていきますが、栄養教諭も加わり食育の観点から野菜のパワーについても学んでいきます。

1年生は、アサガオの種をまき発芽してきています。ご家庭でも「学校のアサガオ(野菜)大きくなった？」等の問いかけをしていただくと、子供たちの関心が高まると思います。

登下校の安全



公民館の通りにスムーズ横断歩道ができたことについて4月の学校だよりに書きましたが、その後グリーンゾーンの塗装がさらに進みました。写真は校門前までの塗装が終了した状態です。写真の左端には、朝7:30-8:30



通行禁止の看板も見えます。子供たちは7:45-8:00の間に登校していますのでご注意願います。

右の写真は、1年生の下校についていった時のものです。保護者や教員の付き添いで右側をきちんと1列に並んで歩いています。国のガイドラインでは、登下校は基本的に学校以外が担う業務となっています。木田地区では、地域の皆さんが様々なところで子供たちの安全を見守ってくれているので、大変心強いです。また、保護者の皆さんからは、繰り返し安全な登下校について子供たちに話してあげてください。

1年生を迎える会

1年生を迎える会を行いました。2年生からはアサガオの種が贈られました。画用紙で作った袋に入った種を持ち帰ったと思います。小さな種ですが、子供たちの間でこのように受け渡されていくことで、つながりができているような気になります。



そんな1年生も、学校内で自分できることが増えているようです。掃除場所にも一人で行けるようになりました。先生と一緒に図書室に行き、読みたい本を借りて読むこともできる

ようにもなりました。慣れるという能力は、人間に備わった優れた能力の一つだそうですが、徐々に小学校に慣れてきているのではないのでしょうか。焦らずに少しずつ慣れていって欲しいと思います。

木田小の歴史



春日郵便局の所にある石碑です。石碑には、『明治27年(1894)この地に木田尋常小学校を創立した。〈中略〉昭和11年福井市に編入したとき現在の小学校の場所に移転した』と刻ま

れています。昭和11年は西暦1936年です。この地で木田小学校の86年の月日が流れています。

移転の際には校舎の一部を約千メートル、稲刈り後の田んぼの中、丸材のコロを転がして引っ張っていったそうです。千メートルの曳き家という大変な苦勞のすえ移転させ、幼稚園舎として使っていたが、数年後火事で消失したようです。